



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	14年末株価
NYダウ	17,245.24	-202.83	-1.16	-3.71	-3.24	17,823.07
NASDAQ	4,927.88	-77.20	-1.54	-4.26	4.05	4,736.05
日経225	19,596.91	-100.86	-0.51	1.72	12.30	17,450.77
上海総合	3,580.84	-52.06	-1.43	-0.26	10.70	3,234.68
滬深300 (CSI300)	3,746.24	-49.08	-1.29	-1.24	6.01	3,533.71
ハンセン	22,396.14	-492.78	-2.15	-2.06	-5.12	23,605.04
H株	10,181.47	-227.46	-2.19	-3.55	-15.05	11,984.69

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.1%安と反落、上海総合指数は0.3%安

ハンセン指数は1週間で2.1%安と反落。前週末の米雇用統計の発表を受けてFRBが今年12月に利上げを実施するとの観測が高まり、資金流出を懸念する売りが広がった。また、中国の10月の貿易統計や物価統計が市場予想を下回ったことで中国経済の先行き不透明感が意識されたほか、原油先物相場の下落も投資家心理を悪化させた。上海総合指数は1週間で0.3%安と小幅ながら反落。IPOの申し込みルールの変更が好感されたものの、弱い金融統計の発表を受けて週末に一気に値を消す展開となった。

今週の展望:香港市場は軟調な展開か、同時テロや米利上げ観測が重しに

香港市場は引き続き軟調な展開が見込まれる。13日夜に発生したパリの同時テロを受け、リスク回避で投資家の慎重姿勢が強まる可能性が高い。また、12月の米利上げ観測が高まる中、利上げを織り込む動きも継続しそうだ。特に今週は18日にFOMC議事要旨が公表される。利上げが強く意識される展開となれば相場の重しとなる可能性が高い。一方、本土市場はもみ合いの展開か。地合いは改善傾向にあるが、早ければ今週中にもIPOが再開されることから、一時的な需給の悪化が意識される可能性がある。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 レノバグループ(00992)	8.28	9.67
2 中国旺旺(00151)	6.43	3.21
3 長江実業地産(01113)	53.30	0.95
4 Link REIT(00823)	46.90	0.86
5 華潤ビール(00291)	14.38	0.70
6 HSBC(00005)	61.05	0.25
7		
8		
9		
10		

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 リー&フン(00494)	5.58	-9.42
2 シンペック(00386)	5.11	-7.59
3 CNOOC(00883)	8.32	-7.35
4 ワープ(00004)	44.50	-6.02
5 ベトロチャイ(00857)	5.69	-5.95
6 華潤置地(01109)	20.75	-5.90
7 銀河娛樂(00027)	25.25	-5.78
8 中国神華能源(01088)	12.44	-5.04
9 華潤電力控股(00836)	15.92	-4.90
10 昆侖能源(00135)	6.05	-3.97

▼今週の主なイベント

- 11月17日(火)
 - 【香港】失業率(8-10月)
 - 11月18日(水)
 - 【中国】全国70都市不動産価格(10月)
 - 【米国】FOMC議事要旨公表(10月分)

▼今週の期待材料

- ◆18日に中国の全国70都市不動産価格発表。不動産価格の回復が確認できれば相場の下支え材料に
- ◆17日に「滬港通」開始1周年の記念式典。式典に合わせて「深港通」のサプライズ発表も
- ◆IMFが人民元の特別引き出し権(SDR)採用を提案。人民元の国際化が進み、信用力が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆18日に米FOMC議事要旨公表。12月の利上げの可能性が高まれば、相場の下押し圧力に
- ◆本土市場で早ければ今週中にも先行して10社のIPOが再開。一時的な需給悪化が意識される可能性も
- ◆13日夜発生したパリの同時テロを受けて投資家心理悪化、リスク回避で慎重姿勢強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所(00388):17日に「滬港通」開始1周年、「深港通」発表の可能性も
- ☆ 中国太平保険(00966):子会社3社の1-10月の保険料収入が24%増加
- ☆ 洛陽ガラス(01108):資産再編計画を当局が条件付きで承認、16日に取引再開
- ☆ 中国生物製薬(01177):20日に7-9月期決算を発表、市場予想は15%増益
- ☆ 中国中車(01766):H株指数構成銘柄への採用が決定、12月7日から正式採用に
- ◇ 東江環保(00895):危険物処理会社の株式60%を7600万円で取得、16日に取引再開
- ★ 江西銅業(00358):H株指数構成銘柄からの除外が決定、12月7日から正式に除外
- ★ 合生元(01112):1-9月期決算は13%減収、15年12月本決算は90%減益の見通し
- ★ 新華人寿保険(01336):1-10月の保険料収入は伸び率鈍化、10月単月は18%減
- ★ キングソフト(03888):17日に7-9月期決算を発表、市場予想は63%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。